

令和4年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立道塚小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・「知識・技能」について、基本の奏法を丁寧に指導することにより、技能が身につく、曲の感じを生かして演奏することができる児童が増えた。
- ・「思考・判断・表現」について、曲想と音楽の要素を関わらせた指導を徹底することにより、感じ取ったことや児童が表現したいことと、音楽の要素とを関連付けて考えることができる児童が増えた。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」について、タブレットを使って音楽づくりをしたり、友達と歌声や音を合わせて活動したりすることで、楽しくすすんで取り組む様子が多くみられた。

(2) 課題

- ・「知識・技能」について、表したい音楽を表現するための知識や技能が十分に身に付いていない児童が多い。
- ・「思考・判断・表現」について、どのような表現にしたいかについて自分なりの思いや意図をもち、演奏に生かすことが苦手な児童が多い。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
器楽では、鍵盤ハーモニカや打楽器の奏法の基礎基本の定着を図る。	・鑑賞の活動で、言語化させる場を設ける。 ・歌詞の内容にも注目させ、曲の特徴に合った表現につなげていく。	体を使って表現したり、友達とかかわりながら活動したりすることで楽しさを味わわせ、意欲的に表現に取り組めるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・スモールステップで技能の習得に取り組む。 ・様々な曲想の音楽に触れ、感じ取ったことと音楽の要素を関連付けるために板書を工夫したり、ICTを活用したりする。	・ワークシートやタブレットを活用して、自分の意図や思いを視覚的にわかるようにする。 ・グループ活動を取り入れて、考え方を広げる。	題材ごとに見通しをもたせたり、振り返りの時間を設けたりする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・器楽では、リコーダーの運指を丁寧に指導する。歌唱では、呼吸の仕方、発音の仕方を押さえて、様々な歌い方を習得させる。 ・様々な曲想の音楽に触れ、感じ取ったことと音楽の要素を関連付けるために板書を工夫したり、ICTを活用したりする。	・ワークシートやタブレットを活用して自分の考えをまとめやすくしたり、表現方法を試す場を設定したりと、試行錯誤する時間を意図的に作る。 ・グループ活動を取り入れて、個人の考えを広げる。	・題材ごとに見通しをもたせたり、振り返りの時間を設けたりする。 ・集団の中で自分の役割を生かして演奏に取り組むという責任感を持たせて演奏に臨めるようにする。